DAFS 景況感アンケート (2023 年 9 月)

	2022 年		2023 年			先行
	9 月	12 月	3 月	6 月	9 月	
受注	35	△7	△32	△50	△75	△50
在庫	26	52	58	72	78	53

(ポイント：%)

【概況】

9 月時点で受注はマイナス幅がさらに増加。先行(前回△38)も悪化。
在庫は過剰な状況が 6 月に比べて増加し、先行(前回 34)も悪化。

【アンケートご回答各社コメント】

- ・長期手配により顧客の在庫が不明確なため、立上げ時期が見えにくい。
- ・メモリ市場で 10 月以降回復基調にあるものの、その他半導体・電子部品では P/O の入り方が相変わらず弱い状況、車載向けのみ堅調。その他はサーバ・ストレージを中心に低迷中。
- ・昨年までの過剰手配と昨今のメーカ納期改善により受注減少。年内の売上については受注残もあり堅調。しかし受注は相変わらず低迷。
- ・市場の回復の見通しはまだついていない。
- ・産業機器関連のお客様からも納期延伸の依頼が増えてきている。
- ・メモリ IC については供給過剰が続いていたが、そろそろサプライヤーの減産効果が出てきている。あと 1～3 か月で若干不足気味な需給状態になると思われる。需要増加による供給ひっ迫でなく、当面は供給側のコントロールによる縮小均衡と思われる。

【調査要項】

1. 実施期間：2023 年 9 月 19 日～9 月 26 日
2. 調査対象：DAFS 会員（正会員、賛助会員）
3. 回答数：32 社（回収率 72.7%）
4. 調査方法：会員向けメールにて依頼、Web 回答
5. 分析方法：DI (Diffusion Index)

受注 DI 値 (9 月) = (良い/やや良い) - (やや悪い/悪い)

受注 DI 値 (先行) = (上昇) - (下降)

在庫 DI 値 (9 月) = (過剰/過剰気味) - (やや不足/不足)

在庫 DI 値 (先行) = (過剰) - (不足)

以上